

江別市民芸術文化奨励賞



佐藤富美子

江別市野幌
太々神楽伝承会

【推薦者】 江別市野幌太々神楽伝承会

会長 直井 孝一

【略歴・功績】 伝承会設立当初から舞の習

得に努め、自らも舞い、子供の舞の指導を続けている。長く会計を務めて会を支え、現在は副会長として後継者の育成、新規会員の勧誘など多くを担っている。江別市の無形民俗文化財である野幌太々神楽の市民団体としての活動を支え続けてきた。また記念すべき三十周年に向けて情熱的に取り組んでいる。



竹田 圭子

江別市野幌
太々神楽伝承会

【推薦者】 江別市野幌太々神楽伝承会

会長 直井 孝一

【略歴・功績】 伝承会設立当初から舞と笛

の習得に努め、自ら舞うほか子供の舞の指導、楽として後進の指導を続けている。また、衣装の管理や備品の整備に心を尽くし、管理を怠らず会を支えている。江別市の無形民俗文化財である野幌太々神楽の市民団体としての活動を支え続けてきた。また記念すべき三十周年に向けて情熱的に取り組んでいる。



北海道中国武術倶楽部

こども文化ブロック

【推薦者】 江別市文化協会専務理事（舞台部長）

江別子ども劇場代表 佐藤ひとみ

【略歴・功績】 二〇〇四年に設立、二〇〇五年野幌

町に練習場をつくり武術チームができて以来、現在江別市を拠点に札幌・苫見沢市において活動を行う。設立以来、中国武術を通して十九年に亘り多くの子供たちを指導し、健全育成に寄与された。各種大会においてはメダル獲得や入賞を果たし、全国はもとより国際大会レベルの選手を輩出している。様々な場所でも多くの舞台やステージをこなし、最近では中国舞踊とのコラボを行っている。二〇一二年石山雅志理事長が文部大臣賞顕彰受賞。成人者も太極拳やカンフーを通じて市内外での活動の場を拡げている。こども文化祭では多くの出演者で大会を盛り上げ、これからも益々活躍が期待される。

第70回
江別市民
文化祭

第44回 江別こども文化祭

令和5年11月19日(日) / えぼあホール

こども文化祭テーマ「みんなで創れ！世界で二つだけの舞台を！」

出演団体は・江別児童合唱団・江別Jrオーケストラ・ふぞろいな輪・たち・江別子ども演劇クラブ（江別子ども劇場）・北海道中国武術倶楽部・文京台一輪車クラブ・オカリナ同好会「クオーレ」（江別市高齢者クラブ連合会・賛助出演）の七団体でした。

インフルエンザが猛威をふるい学級閉鎖などで、急

な出演断念や練習もままならなかった団体もありました。そんな中でも子供達は「世界で二つだけの舞台」を大切に

創っていました。毎年の事ですが子供達が舞台にかける情熱にサポートの大人も胸を熱くします。舞台を終えて感極まって涙する子供達もいます。今年も舞台の素晴らしさが皆の心に残ったことでしょう。

*出演者140人・入場者343人

(記：実行委員長 川守田)



第70回
江別市民文化祭

洋舞フェスティバル「キラキラに輝く場所」

令和5年11月3日(金祝) / 江別市民会館大ホール

二〇二三年十一月三日、江別市民会館にて「第三十七回 洋舞フェスティバル」を開催しました。今年も「昼の部(第一部)のみ」の公演ではありましたが、新型コロナウイルスによる制約がなくなったこともあり昨年よりも出演者数が増え、たくさんのお客様にご来場いただきました。まだまだ元通りとはいきませんが、専門業者による本格的な照明も復活、ラストには全出演団体によるフィナーレを実施するなど少しずつ以前のようなスタイルに戻りつつあります。本番に向けて振付、練習、リハーサルとたくさん準備を重ねて当日を迎えました。大人も子どももベテランもビギナーも全員が一つとなって作り上げたステージ。ライトに照らされた汗、涙、瞳、そして精一杯に踊る姿と笑顔がキラキラと輝いていました。この場所、この瞬間がこれからもずっと続き、江別市の文化がさらに発展することを願ってやみません。今回も多



くの皆様に支えていただき洋舞フェスティバルを無事に開催することができました。これからも感謝の気持ちと初心を忘れずに、さらに成長した姿でお会いできることを祈りながら日々の練習に励んで参ります。これからもっと多くの仲間と出会い、この感動を共有していきたいと思っております。また次回、「第三十八回 洋舞フェスティバル」にてお会いできることを楽しみにしております。

最後になりましたが開催にあたり様々なことにご協力くださった皆様にご場をお借りしまして心よりお礼申し上げます。(洋舞ブロック代表 坂井亮治)

出演団体

- 1、マインド Jr. マーガレット
- 2、UNTRAITOR
- 3、大麻ジャズダンススタジオ
- 4、石川みはるバレエ研究所大麻支部
- 5、三のダンススタジオ
- 6、Smile ArtDance Company
- 7、ビジューバレーコンチエルト大麻サークル
- 8、ハイビスカス・フラサークル
- 9、三のキッズチアダンスクラス
- 10、札幌舞踊会 江別サークル

第70回
江別市民文化祭

第1回 江別deプチ演劇フェスティバル

令和5年10月29日(日) / 中央公民館

第七十回江別文化祭において、第一回 江別deプチ演劇フェスティバルを開催する事ができました。

私も 語り・ひとり芝居ぐるーぷ うるうる亭は、二〇一三年に文化協会の土佐市との文化交流事業で生まれた「えべつ俄(にわか)」第1作を発表。それ以来、毎年一本の新しい作品を文化祭の総合芸術フェスティバルで発表していました。六十七回文化祭では同フェスティバルがなく

なり、コロナ感染が続く中、洋舞ブロックと合同というより混ぜていただく形で参加させていただきました。六十八、六十九回は民謡ブロックにお世話になりました。そんな中、演

劇ブロックも近頃流行ってきた短編演劇であれば 演劇ブロック単独で複数作品のフェスティバルが可能なのではないかというプランを思いつきました。このプランにもとづいて演劇ブロック構成団体に相談したところ、ドラマシアターどもさんから快諾をいただきました。また、ハワイの民話の語りと共にフラを表現してみたいというアイデアをお持ちの堀内真智子さんが参加くださることに、三団体でやってみようということになりました。また、旧交のあるピアニストの春間ゲンさんがちょうどその時期、北海道にいらつしゃるとの事で、場面転換の幕間の演奏をお願いすることができて、なんとか形になりました。また、本番の客席に江別在住の藤原千尋さんの作品「おじぞうさま」を飾ることができ、ほのほのした劇場空間を演出できました。

千円という入場料で百人集め